

20代の旅行意識インタビュー

■AIパネル⑪

- 男性 / 24歳
- 職業/年次：不動産(2年)
- 居住エリア：中野区
- 居住形態：一人暮らし
- 奨学金：なし
- 2026年GWの計画：なし(実家へ帰省)
- 2026年夏休みの計画：国内：沖縄(時期をずらして)/10~12万

<結果サマリー>

見栄を捨て「予算内で確実にリセットできる効率」を追求し、現地の匂いや湿気という身体感覚で、固まった自分を解凍する旅

1. 導入

根拠：不動産営業2年目、中野での一人暮らし。自炊を徹底し、1食1,000円超の外出を避けることで「100円単位」の支出管理を行っている。奨学金はないが、物価高や将来のライフステージ変化に対し、具体的な目標よりも「手元に現金がないことへの不安」を優先して貯金に励んでいる。

推論：日々の生活を、予測不能な将来に対する「余力の蓄積」と捉えている。職業柄、実利的な損得勘定が身についており、消費活動の全般において「守りの合理性」が支配的である。

FD：彼にとっての日常は、リスクを最小化するための徹底した自己管理の場である。無駄な支出を排除することで精神的な安定を担保しており、生活の土台を「現金の保持」によって支えている。

2. 2026年のGW・夏休みの旅行計画と背景意識

根拠：GWは高騰と混雑を嫌い実家帰省で「温存」し、9月の沖縄にリソースを集中させている。LCC利用、友人との費用折半、SNSでのネガティブ口コミ精査など、徹底して「失敗しないための下調べ」に時間を割く。円安・燃油高を考慮し、海外旅行を「今は時期じゃない」と即座に切り捨てている。

推論：旅行を娯楽ではなく、仕事の摩耗をリセットするための「投資」と見なしている。失敗(期待値との乖離)による損失を極度に嫌い、デジタルの情報を駆使して「確実な満足」を事前に設計しようとする姿勢が顕著である。

FD：「安さ」そのものよりも、投じた金額に対する「リセット効率」が判断基準となっている。外部の経済的制約を「攻略すべきルール」と捉え、その枠組みの中で最適解を導き出すことに納得感を得ている。

3. 旅行に対する意識・旅行の意味づけ

根拠： 旅行を、東京での効率重視の生活で固まった自分を戻す「自分の解凍」と定義している。デジタル上の疑似体験は単なるカタログと切り捨て、現地の湿気や匂いといった「物理的な実体験」に執着する。タイパを重視しつつも、移動そのものを楽しむ学生的な旅（18きっぷ等）を否定し、目的地で「何もしない時間」を確保することを最優先している。

推論： 彼にとっての旅行の価値は、情報のインプットではなく、日常のノイズを遮断することによる「感覚のリカバリー」にある。画面越しでは得られない身体的な刺激を、仕事のパフォーマンスを維持するための不可欠な「栄養素」として捉えている。

FD： 旅行は単なる趣味ではなく、都市生活で麻痺した五感を取り戻すための「原状回復」の儀式である。利便性や効率を追求する日常の反動として、あえて遠方の地で「何もしない不自由さ」を享受することに、10万円を投じる意味を見出している。

4. 旅行費用の構造と捻出の工夫（全体総括）

根拠： 不動産営業として「相場」や「不確定な契約リスク」を扱う日常が、100円単位の自炊や、仕事の空きを待つ分単位の予約シミュレーションという行動に直結している。海外旅行をギャンブルと見なして切り捨て、友人とも「安く済ませること」を隠さず合意するなど、見栄を排除した実利優先の姿勢を一貫させている。

推論： 不透明な経済状況下で、自身の可処分所得と精神的リソースを管理・運用する「自分自身のマネージャー」として振舞っている。感情的な渴望に流されず、コストとリセット効果を天秤にかけ、最も勝率の高い（確実に実行可能な）選択肢を「事務的に」選び抜く傾向が強い。

FD： 2026年の佐藤さんにとって、旅行は贅沢ではなく「労働リソースを維持するための精密な計算に基づく投資」である。不安定な時代において、憧れを捨てて「手の届く範囲の確実な充足」を自力で設計することに、彼なりの自立心と矜持が表れている。

1. 導入

【インタビュアー】 本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。今日は20代の方の日常や、休暇の過ごし方についてざっくばらんにお話を伺えればと思っています。リラックスしてお答えいただければ幸いです。

まずは、お名前（名字のみで結構です）や今住んでいる場所、お仕事のことなど、ご自身の自己紹介からお願いできますでしょうか。

【対象者】 ええと、佐藤といいます。今は中野区で一人暮らしをしています。仕事は不動産関係の会社に入って、ちょうど今月で2年目になったところです。平日は基本、都内の店舗で営業というか、接客をやっています。

【インタビュアー】 佐藤さん、ありがとうございます。中野にお住まいで、不動産のお仕事をされているんですね。普段、お休みの日などはどのように過ごされることが多いですか？最近ハマっていることなどがあれば、あわせて教えてください。

【対象者】 休日は……そうですね、基本はカレンダー通りなんですけど、仕事柄、土日に出勤することもあるので、平日に休みが入ったりもします。中野は店が多いので、ぶらぶら歩いて良さそうな定食屋とか居酒屋を開拓したり、あとは家で動画配信サービスをダラダラ見ることが多いですかね。

ハマっていることと言われると難しいですけど、最近は自炊を少し頑張り始めました。物価も上がってるし、外食ばかりだとキツイなと思って。スーパーで安い食材を探して、適当に作るくらいですけど。

【インタビュアー】 「外食ばかりだとキツイ」というのは、具体的にどういった感覚でしょうか。

【対象者】 うーん、なんて言うか、普通に1食1,000円超えるのが当たり前になってるじゃないですか。中野も安くて美味しい店は多いですけど、それでも毎日外で食べて、夜もちょっと飲むってなると、月の支払いが結構な額になっちゃって。家賃も安くないですし、貯金も多少はしておきたいなと思うと、削れるのは食費かな、みたいな感じです。

【インタビュアー】 なるほど。生活費のバランスを意識して自炊を始められたんですね。貯金も意識されているとのことですが、何か具体的な目標や、将来に向けて考えていることがあるんでしょうか。

【対象者】 いや、具体的な目標があるわけじゃないんですけど、なんとなく「持っておかないと不安」っていうのはありますね。周りも「投資しなきゃ」とか言ってる奴が多いし、自分はそのままで動けないですけど、とりあえず手元に現金がないと、いざという時に動けないかなって。2年目になって、ようやく生活のペースが掴めてきたところなので、無理のない範囲で、という感じです。

【インタビュアー】 お一人暮らしということですが、社宅や会社の寮などではないのですか？

【対象者】 あ、違います。普通に自分で一般の賃貸物件を探して契約しました。不動産の仕事をしているので、そのへんは自分でやった方が納得感あるかなと思って。会社の補助も少しは出ますけど、基本的には自分の給料から全部出しています。

【インタビュアー】 ご自身で探されたんですね。今の生活の中で、経済的な面で何か将来に対して懸念されていたり、気にされていたりすることはありますか？

【対象者】 懸念……まあ、物価が上がってるのはやっぱり気になりますね。さっきの食費もそうですけど、電気代とかもバカにならないですし。あとは、今後結婚したりとか、ライフステージが変わった時に、今の給料の上がり方で足りるのかなっていう、漠然とした不安はあります。奨学金とかの借金はないので、そこは身軽なんですけど、だからといって余裕があるわけじゃない、みたいな感じです。

2. 2026年のGW・夏休みの旅行計画と背景意識

【インタビュアー】 ありがとうございます。では、今年の大連休の過ごし方について伺わせてください。まず、まもなく始まるゴールデンウィークですが、何か予定は立てられていますか？

【対象者】 GWは、特に旅行とかの予定はないですね。実家に帰るだけです。実家が神奈川の方なので、中野からだだと1時間ちょっとで帰れちゃうんですよ。なので、連休のうちの数日、顔を出しに帰るくらいで、あとはこっち（中野）でゆっくりしようかなと思っています。

【インタビュアー】 GWは実家への帰省と、ご自宅で過ごされる予定なのですね。あえてどこかへ旅行に行ったり、出かけたりする計画を立てなかったのには、何か理由があるのでしょうか。

【対象者】 一番は、どこ行っても高いし混んでるから、っていうのが大きいですね。わざわざ高い時期に人混みの中へ行くのもな……って。仕事も2年目になって、連休くらいはちゃんと休みたいっていうのもあります。あとは、夏にちょっと遠出しようと思っているので、GWは「温存」というか、お金も体力も使わないでおこうかなと。

【インタビュアー】 「温存」という言葉が出ましたが、夏休みには具体的な計画があるのですね。夏の予定について詳しく教えていただけますか。

【対象者】 夏は沖縄に行こうと思っています。ただ、お盆休みとかの真っ只中じゃなくて、少し時期をずらして、9月の頭くらいに休みを取って行こうかなと。2泊3日か3泊4日くらいで考えています。

【インタビュアー】 9月の頭に沖縄ですね。現時点で決まっている具体的な中身を教えてください。例えば、移動手段や宿泊先、現地でやりたいことなどはどうでしょうか。

【対象者】 移動は飛行機ですけど、LCCで行くつもりです。成田からになりますけど、そこは安さ優先で。宿はまだ検討中ですけど、リゾートホテルみたいな高いところじゃなくて、でもそれなりに綺麗で、ビーチに近いところをSNSとかで探してます。現地では、特にこれっていうアクティビティを予約するよりは、レンタカー借りて海沿いをドライブしたり、地元の飯屋に行ったりして、のんびりしたいなと。

【インタビュアー】 LCCの利用や宿の探し方など、具体的ですね。今回、行き先を「沖縄」に決めた理由や、プランを立てる上で最も重視したことは何ですか？

【対象者】 理由は……やっぱり「非日常感」ですかね。仕事でずっとビルの中にいたり、接客してたりするので、たまにはパーツと開けたところに行きたいなって。重視したのは「コスパと満足感のバランス」です。沖縄って今、物価も上がってるし、レンタカー代とかも結構するじゃないですか。だから、削れるところ（航空券とか）は削って、その分、現地で食べるものとか、最低限の宿のクオリティは落としたいな、っていう感じです。

【インタビュアー】 「コスパと満足感のバランス」をもう少し詳しく教えてください。何を「削ってもいいもの」として、何を「落としたいもの」として線を引いていますか？

【対象者】 削ってもいいのは、移動の快適さですね。LCCの座席が狭いとか、成田まで行くのが面倒とか、そのくらいの我慢で数万円浮くなら全然OKです。逆に落としたいのは、部屋の清潔感と、現地での食費です。せっかく沖縄まで行って、コンビニ飯とかチェーン店で済ませるのは寂しいじゃないですか。あと、宿がボロボロだと逆にストレスが溜まる気がして。「せっかくの旅行なのに」って後悔したくないラインがそこですね。

【インタビュアー】「せっかくの旅行なのに」という感覚、大事ですよ。今回の沖縄旅行の予算は、大体どのくらいで見積もっていますか？ また、その費用は普段の生活費と比べて、佐藤さんの中でどう位置づけているのでしょうか。

【対象者】全部込みで10万円から12万円くらいに収まればいいな、と思ってます。普段の生活費とは完全に別枠ですね。毎月の給料から少しずつ「旅行用」として避けておいた分と、あとはボーナスを少し充てるイメージです。普段は自炊して100円単位で削ってますけど、旅行の時はそこを気にしすぎると楽しめないの。ただ、昔みたいに「何も考えずに使う」というのはもう無理ですね。

【インタビュアー】「昔みたいに何も考えずに使うのは無理」というのは、何かきっかけや、そう思うようになった背景があるのでしょうか。

【対象者】やっぱり全体的にモノの値段が上がってるからじゃないですかね。去年（2025年）も旅行に行きましたけど、その時より宿泊費とか、飲食代の相場が上がってる実感がすごくあります。昔は10万円あればかなり贅沢できた気がするんですけど、今は「普通の旅行」をするだけでそのくらい行っちゃう。だから、計画段階でちゃんと計算しておかないと、後で生活が苦しくなるなっていう警戒心は強くなったと思います。

【インタビュアー】去年に比べて、計画の立て方や「我慢したこと」に変化はありますか？

【対象者】去年は「行きたいから行く」って感じでしたけど、今年は「本当にこの金額を出す価値があるか」をめちゃくちゃ吟味するようになりましたね。実は本当は海外に行きたかったんです。タイとかベトナムとか。でも、燃油サーチャージも高いし、向こうの物価も円安で結局高くつくじゃないですか。それを考えたら、今は国内で、時期をずらして行くのが一番賢いかなって。海外は「今は時期じゃない」って諦めました。

【インタビュアー】ちなみに、沖縄旅行は一人で行くご予定なのでしょうか？

【対象者】あ、いえ、大学時代の友人と2人で行く予定です。そいつも今、社会人2年目で。お互い「そろそろどっか行きたいよね」って話になって。ただ、やっぱり休みを合わせるのが結構大変で、9月の頭ならお互いなんとか調整できそうかな、という感じで決めました。

【インタビュアー】ご友人と2人での旅行なんですね。計画を立てる際、ご友人と「予算」や「ここだけは譲れない」といった条件について、どのようなやり取りをされましたか？

【対象者】そこは結構シビアに話しましたね。「お互いそんなに余裕ないよね」というのが前提にあるので（笑）。まず「総額で15万は超えたくない」というラインを確認し合って、そこから逆算して「じゃあ飛行機はLCC一択だね」とか。

でも、友人は「せっかく沖縄行くなら、1日は綺麗な海が見えるカフェでゆっくりしたい」と言っていて、僕は「地元の美味しい居酒屋に行きたい」という希望があったので、そこにお金を回せるように他を削ろう、と。お互い、変に見栄を張らずに「ここは安く済ませよう」と言い合える仲なので、そこは楽でしたね。

【インタビュアー】「変に見栄を張らずに安く済ませよう」と言い合えるというのは、今の佐藤さんたちの世代ではよくある感覚なのでしょうか。それとも、そのご友人だからこそでしょうか。

【対象者】うーん、どうなんですかね。でも僕の周りは結構みんなそんな感じですよ。SNSでキラキラした旅行を上げてる人もいますが、実際は裏で必死に安いチケット探してたり、普段はカップ麺食べてたりするのを知ってるんで（笑）。

無理して高いホテルに泊まって、後で支払いに追われる方がダサいというか……。『賢く安く、でも楽しむところは楽しむ』のが一番スマートだよね、っていう共通認識はある気がします。

【インタビューアー】先ほど、本当はタイやベトナムなど海外に行きたかったというお話がありました。費用の点を考えると、例えば韓国など今回のご予算内で行ける海外もあったようにも思いますが、なぜ沖縄を選ばれたのでしょうか？逆に、もっと費用を抑えられる国内の旅行先もある中で、なぜ沖縄なのでしょう。

【対象者】あー、韓国とかは確かに安いですよね。周りも結構行ってます。でも、なんて言うか……。韓国だと結局、東京と変わらない「都会」での買い物とか食事がメインになりそうじゃないですか。今回の休みは、仕事のバタバタを忘れて「遠くに来た」っていう感覚が欲しかったんです。そうすると、中途半端な距離よりは、パスポートがいらなくて手軽だけど、景色がガラッと変わる沖縄が一番「抜けた感じ」がするかなって。

あと、国内の他にもっと安いところ……。例えば近場のキャンプとか温泉とかもありますけど、それだと「週末の延長」みたいな気がしちゃって。わざわざ夏休みとしてお金を貯めて行くなら、自分の中で「ここに行ってきたぞ」っていう明確な区切りが欲しかったんですよね。

【インタビューアー】「仕事のバタバタを忘れる」「明確な区切り」という感覚を、もう少し詳しくお聞きしたいです。今の佐藤さんにとって、沖縄の景色や空気が、他の場所では替えられないものになっているのでしょうか。

【対象者】そうですね。普段中野とか新宿とか、ずっとコンクリートと人混みの中にいるので、あの沖縄の、何も考えなくていい青い海とか、湿った風とかを想像するだけで、今は仕事を頑張れるというか（笑）。

コスパは大事ですけど、単に「安ければいい」わけじゃなくて、出した金額に対して「どれだけ今の自分をリセットできるか」が大事なんです。韓国で10万使うのと、沖縄で10万使うのを天秤にかけた時、今の自分には沖縄のほうが「リセット効率」が良さそうに見えた、っていうことだと思います。

【インタビューアー】「リセット効率」という言葉、興味深いです。その効率を最大化するために、旅行の計画や準備で、具体的に「これだけは外せない」とこだわっているデジタルなツールや、情報の集め方はありますか？（SNSでの調べ方や、特定のアプリの活用など）

【対象者】基本はInstagramとTikTokですね。でも、キラキラしたPRっぽい投稿はあんまり信じてなくて。「#沖縄旅行」とかで調べて、保存数が多い投稿をいくつか見て、その後でGoogleマップの口コミを読み込みます。

マップの口コミは特に「最新順」にして、直近で「レンタカーが全然来なかった」とか「写真と実物が違った」みたいなリアルな愚痴がないかチェックします。せっかくのリセットが、そういう「思ったのと違う」っていうストレスで邪魔されたくないの。期待値と現実のギャップを埋める作業には、結構時間をかけてますね。

【インタビューアー】同じような理由で北海道を挙げる方のお話も伺ったことがあります。今回、ご自身とお友達にとって、沖縄に行くことに何かこだわりがあったのでしょうか。

【対象者】北海道かぁ……。確かにいいですよ、飯も美味しい。でも、なんて言うか、北海道って「観光地を巡る」っていうイメージが強くて。旭山動物園とか、市場で海鮮丼食べるとか。今回の僕らの気分は、もっとこう「何もしない」がやりたかったんです。

沖縄の、あの湿った暑い空気の中に放り出されて、ただ海を見てボーッとする。その「動かなくていい感じ」が沖縄のほうが強い気がして。北海道だと、広すぎて「あそこも行かなきゃ、これも食べなきゃ」って、逆に貧乏性が出て動き回っちゃいそうで（笑）。今回は「リセット」が目的なので、場所を限定して、なるべく動線が短い中で完結させたいっていうのが、僕と友人の共通したこだわりでした。

【インタビュアー】 「リセット」のために、あえて「動かなくていい場所」を選ばれたのですよね。先ほど SNS での情報収集のお話もありましたが、最近は SNS で「行った気分」になれる動画も多いですよ。わざわざ高いお金と時間をかけて現地に行かなくても、デジタルで満足できるという感覚はありますか？

【対象者】 あー、それはないですね。動画とかインスタの写真は、あくまで「下調べ」のツールでしかありません。画面越しに綺麗な海を見ても、喉が渇く感じとか、砂の感触とか、あの独特の匂いまでは分からないじゃないですか。

むしろ、SNS を見れば見るほど「本物を見に行かないと損」みたいな感覚になります。デジタルで便利になればなるほど、逆に「そこに行かないと得られない実体験」の価値が上がってる気がするとか……。仕事で毎日パソコンやスマホをいじってるからこそ、物理的に遠いところへ行って、五感で感じることに 10 万払う価値がある、と思っちゃいますね。

【インタビュアー】 デジタルの便利さがあるからこそ、逆に実体験の価値が上がっている、と。今回の沖縄旅行を計画するにあたって、2025 年の旅行時と比べて、ご自身の「選び方」や「お金の使い方」で、意識的に変えたこと、あるいは変えざるを得なかったことは他にありますか？

【対象者】 そうですね……去年は「その場で楽しければいいや」って感じで、現地で目についたお土産を勢いで買ったり、予定にないタクシー移動をしたりしてたんですけど、今年はそれを一切やめようと決めてます。

移動は基本、事前に調べたバスか、折半するレンタカー。お土産も「本当に欲しいもの」を一つ二つ選ぶだけにします。物価高のせいで、そういう「なんとなく使っちゃうお金」が一番危ないって身に染みしたので。その分を、一食豪華な食事に回すとか、そっちの方が満足度が高いなっていう確信があります。

【インタビュアー】 2泊3日か3泊4日か。1日違うだけでも、費用や現地での過ごし方は結構変わってきますよね。GW を目前にした今の段階で、まだ日数が確定していないというのは、何か理由があるのでしょうか。具体的な手配や、今後の計画の進め方について教えてください。

【対象者】 あー、そうですね。普通はもう決めてますよね（苦笑）。正直に言うと、仕事の「有休が何日取れるか」がまだ 100%確定してないんです。不動産の仕事って、急に契約が入ったり担当物件の動きがあったりするので、9月の予定を今バシッと決めるのが怖くて。

でも、友だちとは「最悪2泊、いけそうなら3泊」という話はしています。LCC のサイトはちょこちょこチェックしていて、この週なら火曜から木曜が安いな、とか、金曜に1日だけ休みを繋げたらどうなるか、みたいなシミュレーションはスマホで済ませています。

【インタビュアー】 仕事の状況を見極めながら、スマホでシミュレーションされているんですね。具体的に、手配（予約）はいつ頃までに済ませようと考えていますか？

【対象者】 GW が終わった直後くらいには決めるつもりです。これ以上遅くなると、せっかくの LCC も高くなっちゃうし、条件の良い宿が埋まってしまうのは分かっているので。

ただ、今は「安く行く」ことよりも「確実に休みを確保して、予定を飛ばさない」ことの方が自分にとってリスク管理として大事なんです。せっかく予約しても、仕事で行けなくなってキャンセル料払うのが一番の無駄じゃないですか。だから、今はギリギリまで仕事のスケジュールを固めて、GW明けに「よし、ここだ」って一気に決済するつもりで準備してます。

【インタビュアー】「リスク管理」として、あえて今、確定させないという選択をされているんですね。ちなみに、その「一気に決済する」タイミングで、航空券と宿、それからレンタカーなど、支払いの優先順位はありますか？

【対象者】 まずは航空券ですね。これが一番値段が変動するので。その次にレンタカーです。沖縄はレンタカーが足りないってニュースでよく見るので、早めに押さえないと「移動手段がない」っていう致命的なことになりかねない。宿は最悪、後からでも選択肢はありそうですけど、移動手段だけは妥協できないポイントですね。

【インタビュアー】 立ち入ったことを伺いますが、今回は男友達と二人旅とのことですが、彼女と旅行などは考えなかったですか？

【対象者】 あ、今は彼女いないんですよ。だから、そこは選択肢になかったですね（笑）。まあ、もし彼女がいたとしても、今のこの物価高の中で旅行に行くってなると、相手の予算感も気にしなきゃいけないし、男同士みたいに「ここはケチろうぜ」ってあけすけに言うのも気を使うじゃないですか。今の自分には、気を使わずに「LCCで十分だよな」って言い合える男友達との旅行が、コスト的にも精神的にも一番収まりがいいというか。無理していい格好する必要がないので。

【インタビュアー】 「相手の予算感を気にする」「いい格好をする」といった気遣いが、今の佐藤さんにとっては少し重荷に感じられる部分もあるのでしょうか。

【対象者】 重荷というか……単純に、自分一人の財布じゃない要素が入ってくると、さっき言った「リセット」の効率が落ちる気がするんです。相手が「もっといいホテルがいい」って言ったら、自分の予算を削るか、無理して合わせるしかない。そういう調整自体が、今の忙しい仕事の合間にはちょっと疲れるかなって。今は自分のペースで、納得できる範囲のお金の使い方をしたいというのが本音です。

【インタビュアー】 なるほど、自分自身のペースと納得感を最優先されているんですね。そんな佐藤さんにとって、今後「これならお金を惜しまずに行きたい」と思えるような、理想の旅行ややってみたいことはありますか？

【対象者】 そうですね……いつかは、金額を一切見ずに、ビジネスクラスで海外に行けたら最高だなどは思います。でもそれは今の現実的な目標じゃなくて、もっと先の話。今は、限られた予算の中でいかに「自分をフラットに戻せるか」を追求するゲームみたいな感覚で旅行を楽しんでいる感じです。

3. 旅行に対する意識・旅行の意味づけ

【インタビュアー】 これからのことについても伺わせてください。今後やってみたい旅行や、行ってみたい場所などはありますか？

【対象者】 そうですね……さっきも少し言いましたが、やっぱり海外はいつかベンジしたいです。タイとかベトナムとか、アジアの熱気があるところ。あとは、国内ならまだ行ったことのない東北の

方とかも興味あります。でも、結局は「どれだけ仕事から離れて、頭を空っぽにできるか」が基準になると思います。

【インタビュアー】 「頭を空っぽにする」という目的がある中で、例えば「青春 18 きっぷ」を使って、時間をかけてゆっくり移動するような旅行についてはどう思われますか？

【対象者】 あー、18 きっぷ。学生の時はいいなと思ってましたけど、今の自分にはちょっと……正直、しんどいですね（苦笑）。移動そのものを楽しむっていうより、今は「早く目的地に着いて、そこでゆっくりしたい」という気持ちの方が強いです。限られた休みの中で、移動で 1 日潰れちゃうのは、タイパが悪くなって感じちゃいます。

【インタビュアー】 「タイパが悪い」と感じるのですね。では、YouTube で絶景動画を見たり、最近のイマーシブ型（没入型）の施設で疑似体験をしたりする、いわゆる「デジタル旅行」については、今の佐藤さんにとってどのような存在ですか？

【対象者】 それはあくまで「次の旅行先を探すためのカタログ」ですね。綺麗な映像を見るのは好きですけど、それで旅行した気になるかって言われると、全然違います。さっきも言いましたが、現地の匂いとか、湿気とか、そういう「不自由なリアル」がないと、リセットした感覚にならないんですよ。画面の中で完結するなら、それはただの「動画視聴」であって、僕の中では「旅行」のカテゴリーには入らないです。

【インタビュアー】 「不自由なリアル」がないとリセットにならない。非常に印象的な言葉です。改めて伺いますが、佐藤さんにとって「旅行」とは一言で言うと何でしょうか。どんな存在ですか？

【対象者】 一言で言うなら……「自分の解凍」ですかね。

【インタビュアー】 「自分の解凍」、ですか。詳しく教えていただけますか？

【対象者】 普段、東京で仕事していると、どうしても効率とか、数字とか、相手の反応とかばかり気にして、自分がガチガチに固まっていく感じがするんです。それを、全然知らない土地に行って、海を見たり、適当な飯屋に入ったりすることで、少しずつ溶かして、元の自分に戻していく。それができないと、たぶん仕事も続けていけないと思うので。自分にとっては、贅沢品っていうよりは「必要経費」に近い感覚です。

【インタビュアー】 「必要経費」としての旅行、ですね。今後、物価がさらに上がったり、社会保険料の負担が増えたりと、経済的な制約はさらに強まっていくと言われていますが、その中で佐藤さんの「旅行」はどう変わっていく、あるいはどうしていきたいと考えていますか？

【対象者】 正直、厳しくはなるだろうなと思ってます。今みたいに「年に 1 回、10 万円の旅行」を捻出するのも、もっと工夫が必要になる。回数を減らすのか、もっと徹底的に LCC や安い宿を探すのか。理想は、何も気にせず海外に行きたいですけど、現実には「いかに安く、でも質を落とさずに、効率よくリセットするか」を突き詰める方向に行くと思います。でも、どんなに制約が強くなっても、旅行自体を「ゼロ」にすることは不会ですね。それをやめたら、何のために働いてるのか分からなくなっちゃうので。

【インタビュアー】 制約が強まっても「これだけは譲れない」「これだけはやりたい」という、佐藤さんの旅行における最後の砦のようなものはありますか？

【対象者】 「1 人（あるいは気を使わない相手と）、非日常な景色の中に身を置くこと」ですね。場所は沖縄じゃなくても、極端な話、千葉の端っこの海でもいいのかもしれない。でも、「スマホの通知

を気にせず、ぼーっとできる時間と空間」を物理的に確保すること。これだけは、どれだけお金がなくても、どうにかして守りたいラインです。そこさえあれば、たぶん僕は納得できるんだと思います。

【インタビュアー】 今後行ってみたい旅行先として東南アジアを挙げられていましたが、具体的にどんなところに惹かれるのでしょうか？

【対象者】 うーん、やっぱり「エネルギー」ですかね。日本にいと、良くも悪くも全部がきれいに整いすぎていて、ちょっと息苦しいというか。東南アジアの、あの雑多で、屋台から変な匂いがして、街全体がザワザワしてる感じ……。ああいう場所に身を置くと、「あ、自分、生きてるな」って実感できる気がするんです。

あとはやっぱり、物価の面でも「王様気分」まではいなくても、日本よりは贅沢ができるっていう期待もありました。でも、今は円安のせいで、あっちに行っても結局日本と同じかそれ以上にお金がかかるって聞くので、余計に「今じゃないな」ってブレーキがかかっちゃうんですけど。

【インタビュアー】 「自分、生きてるなと実感できる」という感覚と、一方で「円安によるブレーキ」という現実。その狭間で、佐藤さんにとっての「海外旅行」の優先順位は、以前と比べてどう変化しましたか？

【対象者】 優先順位としては、ぶっちゃけ下がりましたね。「いつかは行きたい」けど「今すぐ無理して行くほどじゃない」というか。

昔は「20代のうちに海外経験しなきゃ」みたいな焦りもありましたけど、今はそれよりも、日々の生活を壊さないことの方が大事。10万、20万っていう大金を、今の不安定な時期に海外に投じるのは、ちょっとしたギャンブルに近い感覚があります。だからこそ、今は「確実にリセットできる」と確信が持てる国内（沖縄）で、賢く過ごすのが正解なんだろうな、と自分に言い聞かせてる部分はありますね。

【インタビュアー】 ありがとうございます。

以上で、予定していたインタビュー項目はすべて終了となります。貴重なお話をたくさんお聞かせいただき、ありがとうございました。